

令和6年9月20日

令和6年度 第2回クマ被害対策等に関する関係省庁連絡会議  
(概要)

日 時：令和6年9月12日（木）10:00-11:30

場 所：共用第2・第3会議室（合同庁舎5号館19階）

出席者：警察庁、農林水産省、林野庁、国土交通省、環境省、  
東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科 山崎晃司教授

概 要：

連絡会議の概要は、以下のとおり。

- ① 令和6年8月末までのクマ類の出没及び人身被害の状況並びに環境省、農林水産省における被害防止対策の取組状況等を共有。
- ② 東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科の山崎晃司教授からクマ類の被害対策の基本的な情報について説明（概要以下）
  - ・ 地域個体群の維持に留意しつつ、コア生息地、緩衝地帯、防除地域、排除地域のゾーニング管理を徹底すること。
  - ・ 排除地域及び防除地域のクマ類を山側に押し戻すこと、そして、緩衝地帯での個体数抑制が重要であること。
  - ・ 捕獲だけでなく、被害防除対策も重要であるが、最前線となる里山での高齢化に伴う担い手や技術の不足が懸念されること。
  - ・ 現場対応では装備品など対応者の安全管理が重要であること。
- ③ 会議では以下を確認して終了した。
  - ・ 8月までの状況から、今秋についてもクマ類の出没に対する警戒が必要と考えられるため、関係省庁において適切に対応すること。
  - ・ 都道府県への注意喚起通知を発出し、被害対策について引き続き連携して取り組むこと。

# 令和6年度第2回クマ被害対策等に関する関係省庁連絡会議

## 議事次第

令和6年9月12日（木）10:00—11:30  
共用第2・第3会議室（合同庁舎5号館19階）

### 【議題】

- 1 令和6年度クマ類出没状況等について
- 2 その他

### 【出席者】

|                             |                   |        |
|-----------------------------|-------------------|--------|
| 警察庁生活安全局保安課                 | 保安課長              | 永山 貴大  |
|                             | 保安課銃刀・危険物係課長補佐    | 辻本 照充  |
| 農林水産省農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課   | 課長                | 仙波 徹   |
|                             | 課長補佐（鳥獣被害対策技術普及班） | 谷川 智雄  |
|                             | 鳥獣被害対策技術普及第2係長    | 平田 佑介  |
| 林野庁 国有林野部経営企画課国有林野生態系保全室    | 室長                | 森山 昌人  |
| 森林整備部研究指導課森林保護対策室           |                   |        |
|                             | 課長補佐（企画班）         | 山下 広   |
|                             | 指導官               | 鶴見 仁   |
| 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課       | 課長                | 小島 優   |
|                             | 課長補佐              | 阿河 一穂  |
| 環境省自然環境局野生生物課               | 課長                | 中澤 圭一  |
|                             | 鳥獣保護管理室 室長        | 宇賀神 知則 |
|                             | 室長補佐              | 佐藤 大樹  |
|                             | 室長補佐              | 大川 瑛子  |
|                             | 専門官               | 小幡 裕介  |
| 東京農業大学地域環境科学部森林総合学科森林生態学研究室 | 教授                | 山崎 晃司  |

【配付資料】

資料 1 令和 6 年度クマ類出没状況等について（環境省）

資料 2 令和 7 年度鳥獣被害防止総合対策交付金 概算要求 PR 版  
（農林水産省）

資料 3 クマ類の被害対策のための基本的な情報  
（東京農業大学山崎晃司教授資料）

参考資料 1 クマ被害対策等に関する関係省庁連絡会議 設置要綱

参考資料 2 クマによる人身被害件数（月別）

参考資料 3 クマによる人身被害人数（月別）

参考資料 4 クマ出没件数（月別）

参考資料 5 クマ許可捕獲数（月別）

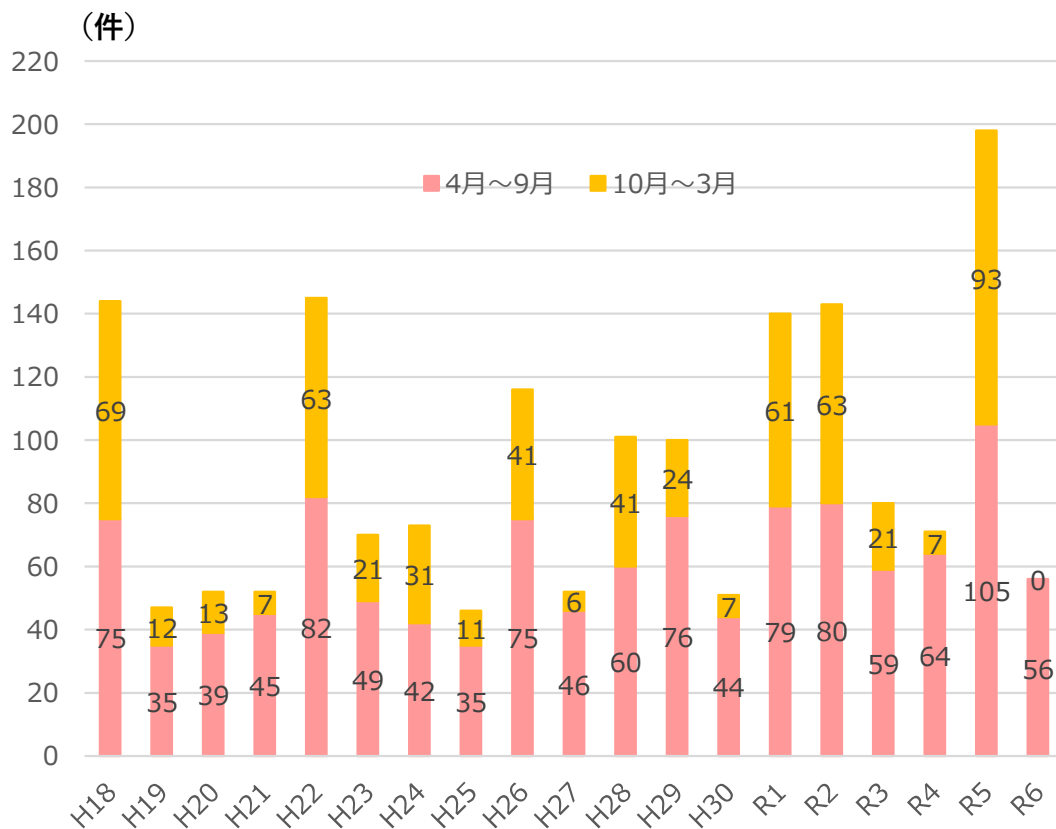
参考資料 6 堅果類の着花結実情報について（速報値）

## 令和 6 年度クマ類の出没状況等について

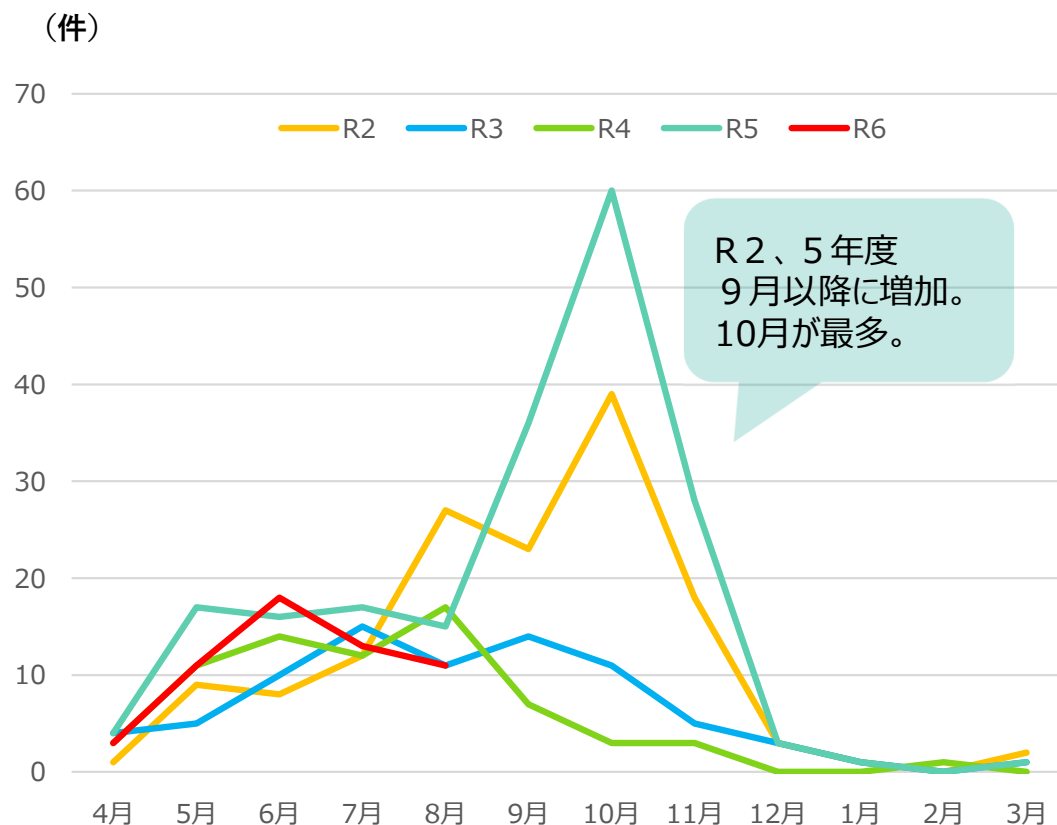
# クマ類による人身被害の発生状況（全国）

- 令和6年8月末までのクマによる人身被害の発生件数（人数）は56件（58人、うち死亡2人）となっており、統計のある平成18年度以降最多ペースとなった令和5年度よりは被害の発生件数は低い状況。
- 9月以降に人身事故が多発する可能性があることから、クマの冬眠まで最大限の警戒が必要。

## クマ類による人身被害件数



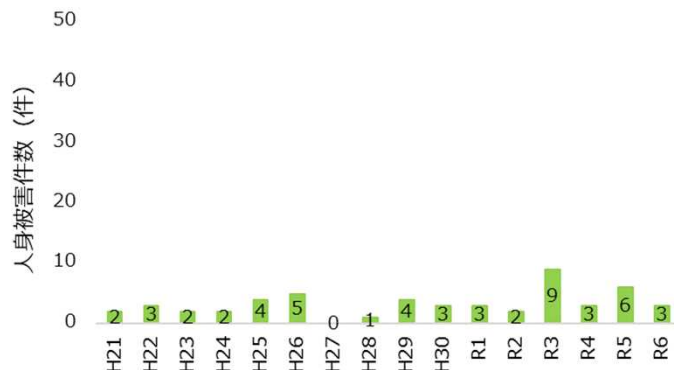
## 直近5年の人身被害件数（月別）



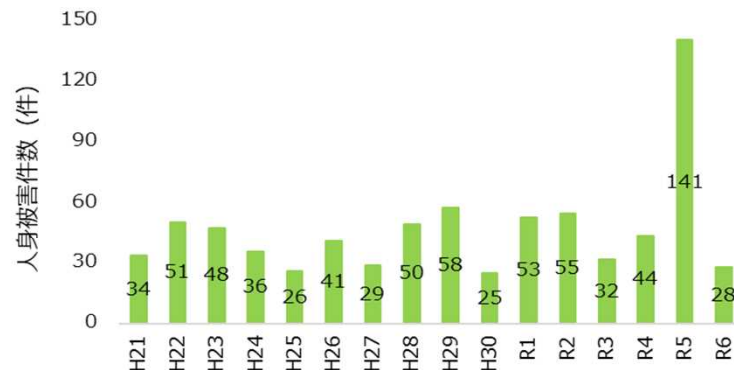
# クマ類による人身被害の発生状況（地方別）

○ **令和6年度（4～8月）に人身被害件数が最も多かったのは東北地方となっている。**

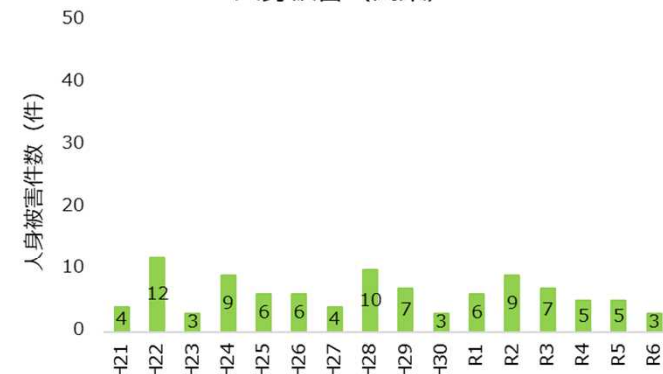
人身被害（北海道）



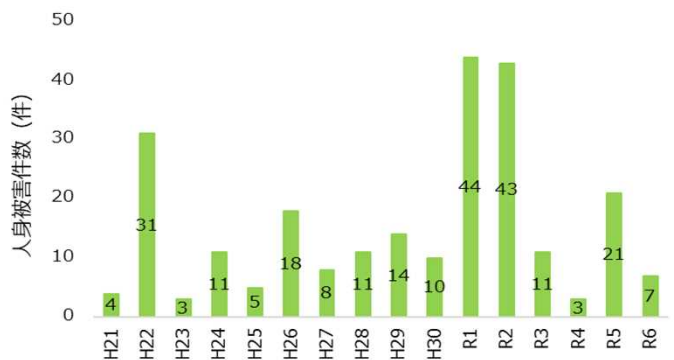
人身被害（東北）



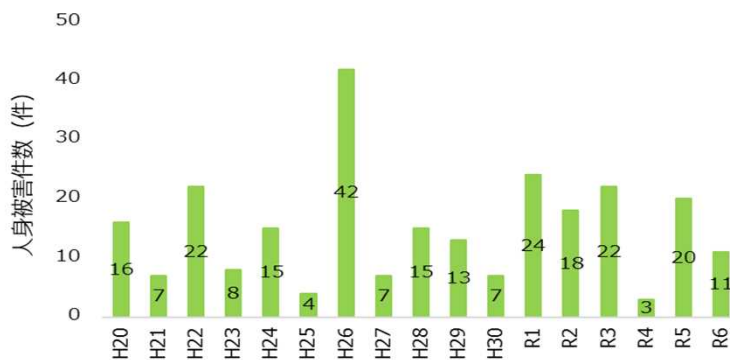
人身被害（関東）



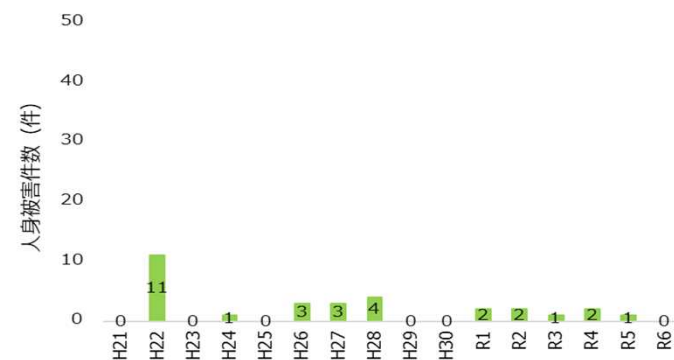
人身被害（北陸）



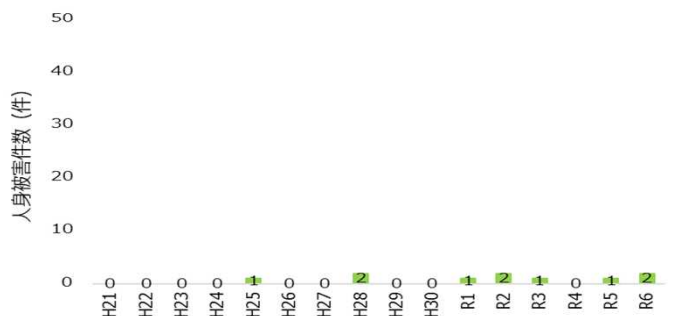
人身被害（中部）



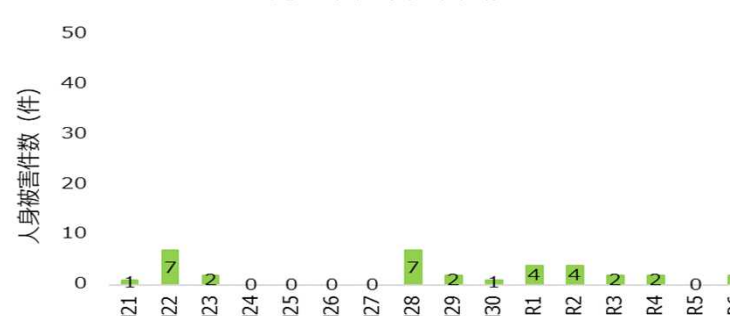
人身被害（近畿）



人身被害（紀伊半島）



人身被害（東中国）



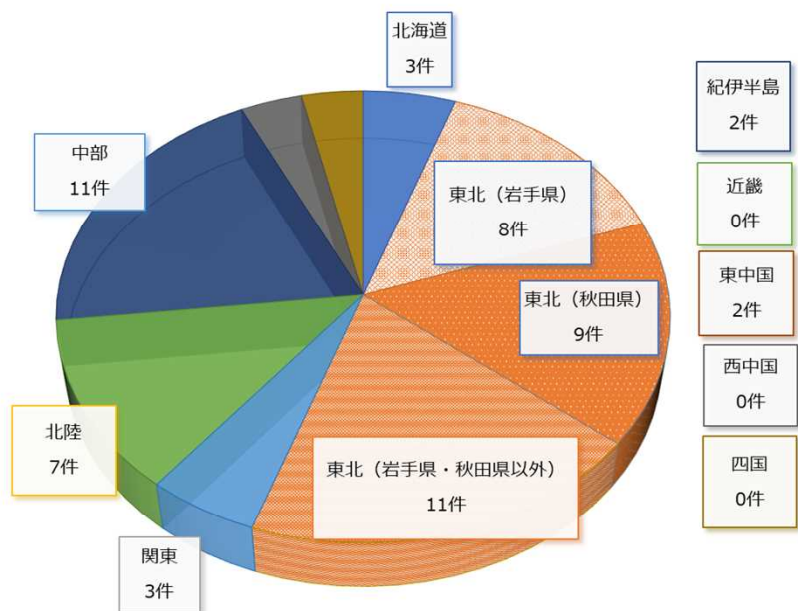
人身被害（西中国）



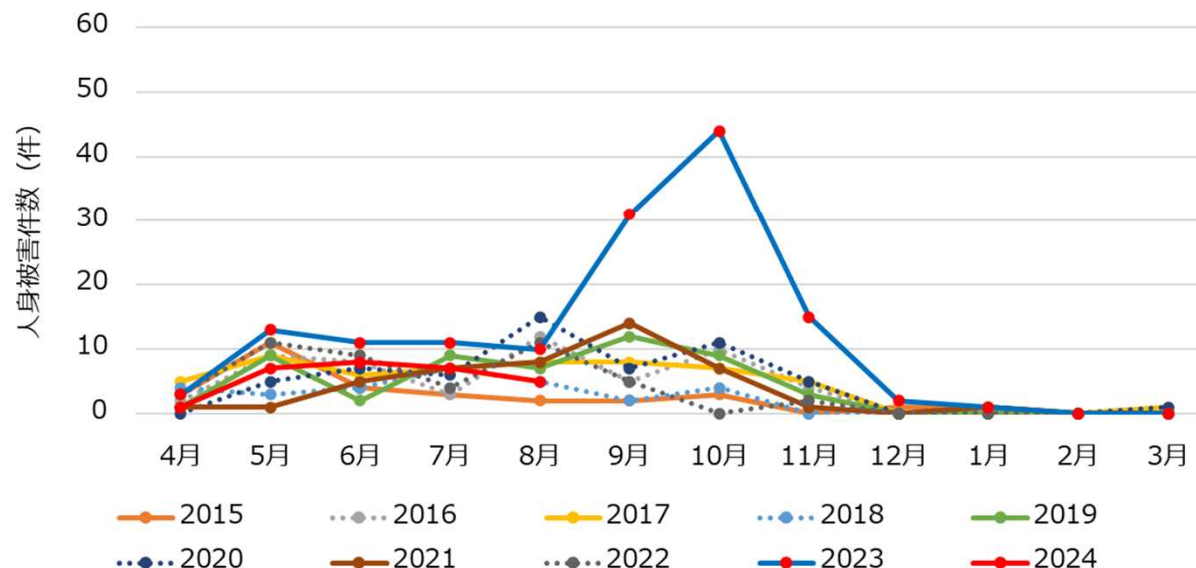
# クマ類による人身被害の発生状況（月別）

- **令和6年度（4～8月）は、東北地方の発生件数が多い状況。**中部・北陸地方でも発生がみられる。
- **東北地方の中でも秋田県（9件）及び岩手県（8件）の割合が高い。**

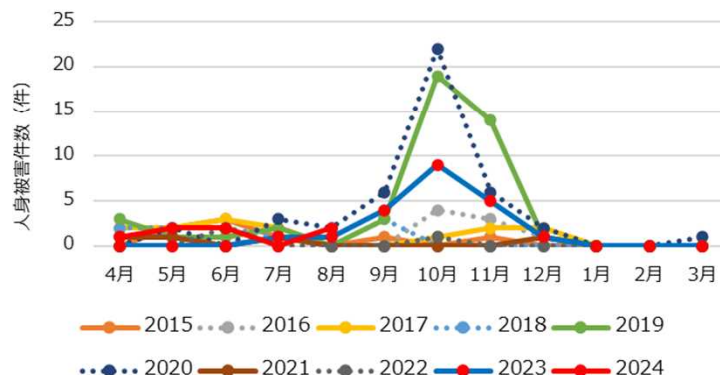
令和6年度のクマ類による人身被害発生件数（地方別）



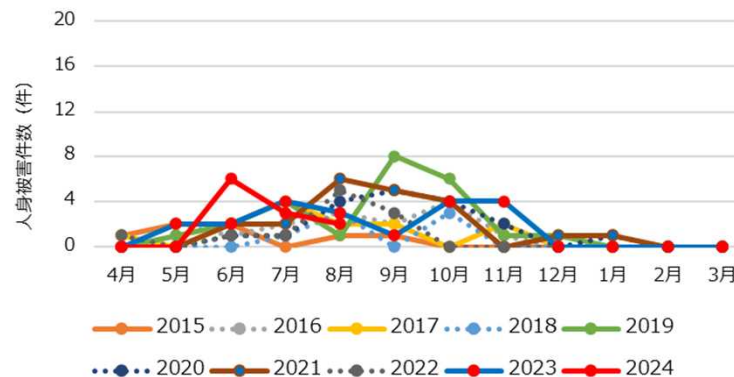
人身被害件数（東北）



人身被害件数（北陸）



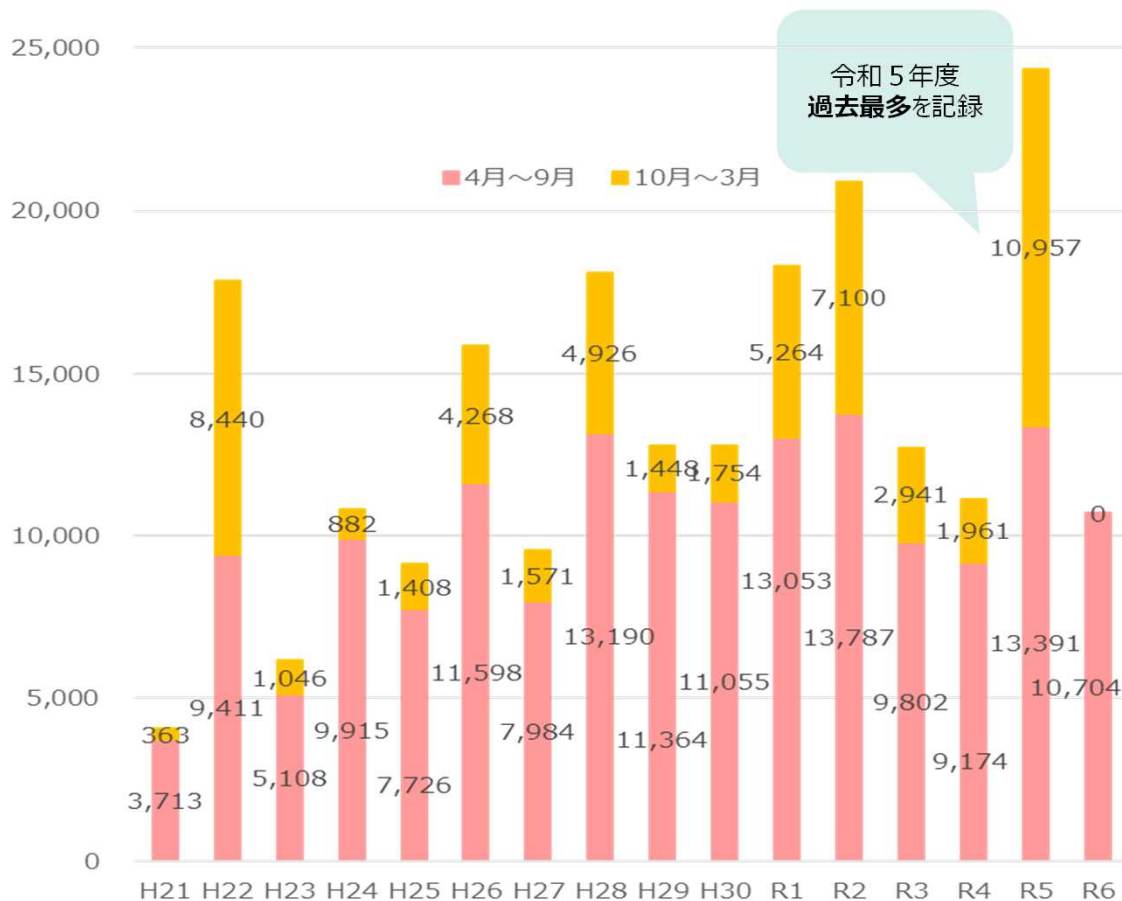
人身被害件数（中部）



# ツキノワグマの出没状況（本州以南）

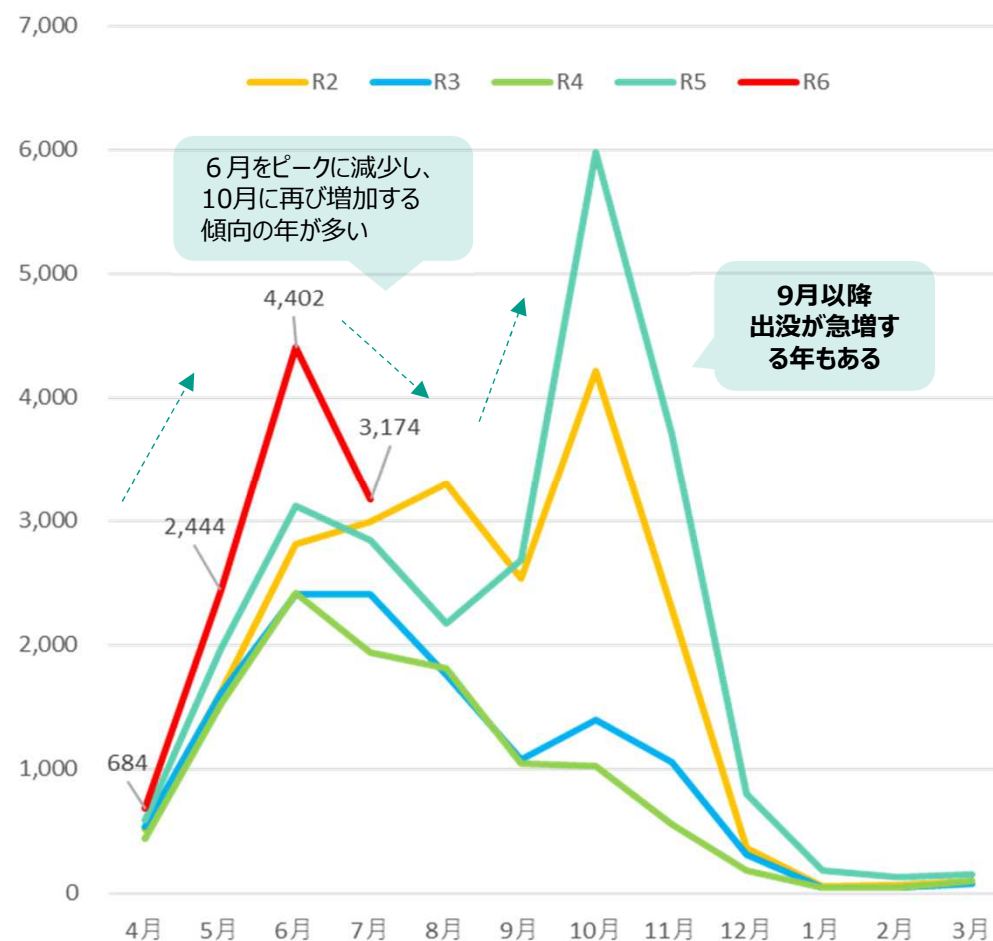
- 令和5年度のツキノワグマの出没件数は、平成21年度以降で過去最多。
- 令和6年度は、直近5カ年の同月比でツキノワグマの出没件数が最多。
- 6月にいったん増加した後、再び秋に増加する傾向にある。

## ツキノワグマの出没件数（年度別）



※令和6年度の出没件数は、令和6年7月末までの速報値。

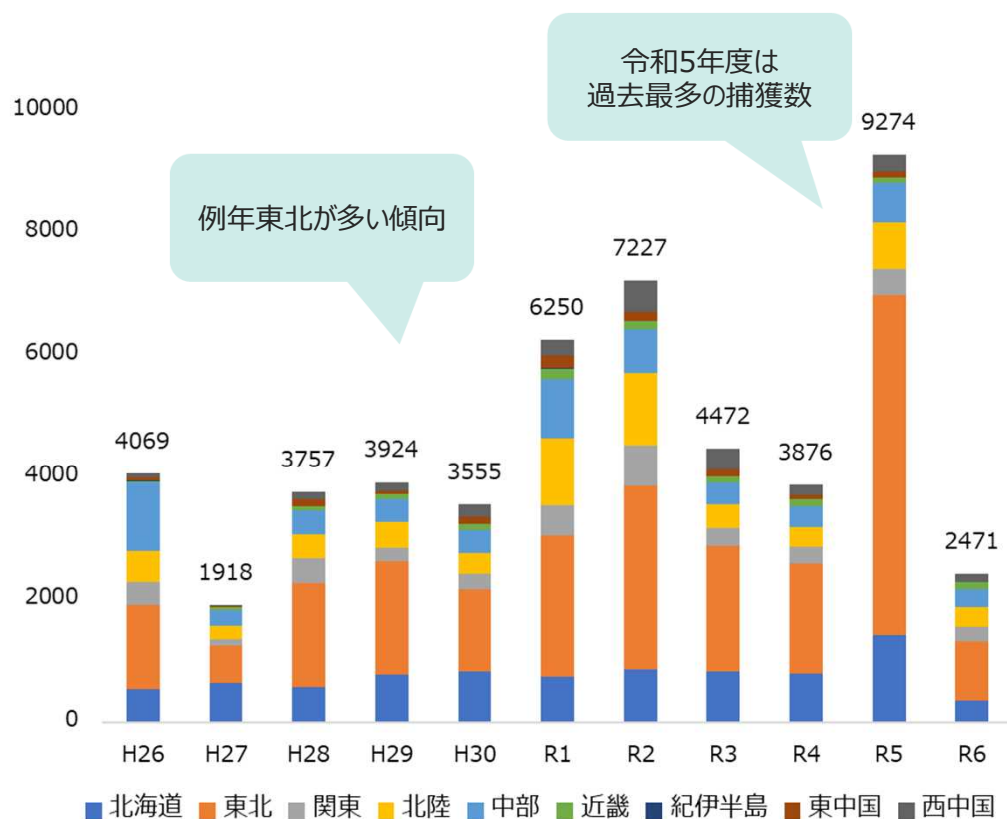
## 直近5年の出没件数（月別）



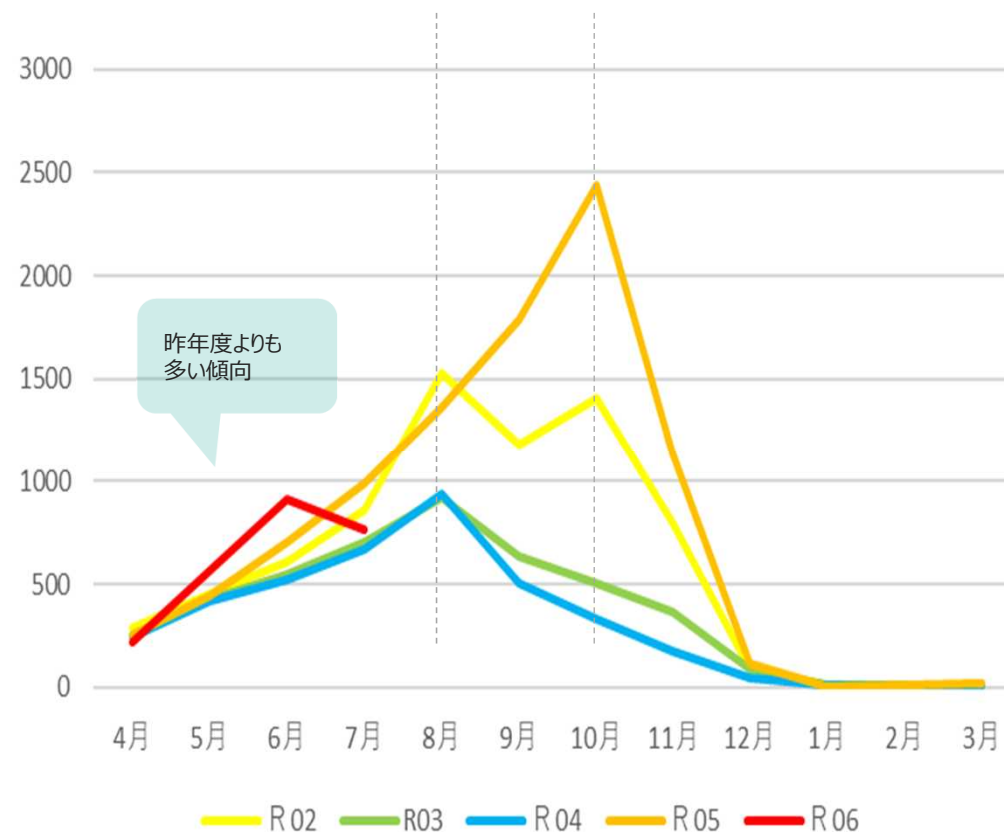
# クマ類の捕獲数

- 令和5年度の許可捕獲数は、ヒグマ、ツキノワグマともに過去最多を記録。（9,274頭）
- 令和6年度の許可捕獲数は、昨年度の同時期と比較しても多い状況

## クマ類の許可捕獲数



## 直近5年の許可捕獲数（月別）



※ 1：令和6年度の許可捕獲数は、令和6年7月末までの速報値（放獣数含む）。

※ 2：四国は速報値による捕獲実績がないため図から省略した。

## 【参考】令和6年度指定管理鳥獣対策事業交付金（クマ類総合対策事業）交付対象メニュー

| 交付対象メニュー             | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                            | 交付対象事業者     | 交付割合                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①計画策定・調査等事業          | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 特定鳥獣保護・管理計画又は指定管理鳥獣捕獲等事業に関する実施計画並びに広域的な保護・管理の方針の策定等。</li> <li>➢ 上記計画策定に必要な生息・目撃・被害状況等の調査及び捕獲情報の収集等及び事業評価の実施。</li> </ul>                                                                                                               | 都道府県<br>協議会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 事業費5,000千円を上限とする定額（都道府県）</li> <li>➢ 事業費10,000千円を上限とする定額（協議会）</li> <li>➢ ただし、いずれも定額を超える事業費分は1 / 2 以内</li> <li>➢ 交付上限額は12,500千円（都道府県。ただし、北海道においては事業費が特別にかかる認められる場合に限り、事業費20,000千円を上限とする定額、交付上限額25,000千円。）</li> </ul> |
| ②捕獲等事業               | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 捕獲及び捕獲に付随する事項の実施。</li> <li>➢ 捕獲個体の搬出・処分の実施。</li> </ul>                                                                                                                                                                                | 都道府県        | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 事業費の1 / 2 以内（都道府県）</li> </ul>                                                                                                                                                                                      |
| ③出没防止対策事業            | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 市街地・集落等の周辺における放任果樹等の誘引物の除去、緩衝帯の整備、侵入防止柵の整備、追い払い、学習放獣、見回り、学習会の開催、普及啓発の実施。</li> </ul>                                                                                                                                                   | 都道府県        | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 事業費の1 / 2 以内（都道府県）</li> </ul>                                                                                                                                                                                      |
| ④出没時の体制構築事業          | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 市街地・集落等への出没を想定した研修・訓練、出没対応マニュアルの作成。</li> <li>➢ ICT等を活用した出没情報の収集・提供の実施。</li> </ul>                                                                                                                                                     | 都道府県        | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 事業費の1 / 2 以内（都道府県）</li> </ul>                                                                                                                                                                                      |
| ⑤クマ類の保護・管理に係る専門人材の育成 | <p>&lt;都道府県&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ クマ類の保護・管理を担う都道府県・市町村担当職員の専門知識の向上、認定鳥獣捕獲等事業者、捕獲技術者の技術向上・育成に向けた必要な取組の実施。</li> </ul> <p>&lt;協議会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 保護管理ユニットをベースにした広域的な保護・管理に向けた研修会の開催等、技術向上・育成に向けた必要な取組の実施。</li> </ul> | 都道府県<br>協議会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 事業費2,000千円を上限とする定額</li> <li>➢ ただし、定額を超える事業費分は1 / 2 以内</li> </ul>                                                                                                                                                   |



＜対策のポイント＞

農作物被害のみならず農山漁村での生活に影響を与える鳥獣被害の防止のため、鳥獣の捕獲等の強化やジビエ利活用拡大への取組等を支援します。

＜事業目標＞

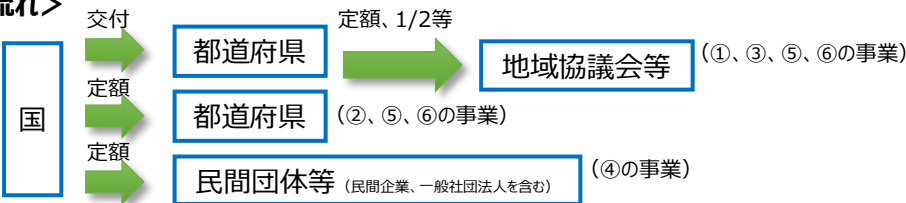
- 農作物被害を及ぼすシカ、イノシシの生息頭数を平成23年度から半減（約215万頭〔令和10年度まで〕）
- 野生鳥獣のジビエ利用量を令和元年度から倍増（4,000t〔令和 7 年度まで〕）

＜事業の内容＞

1. 鳥獣被害防止総合対策交付金 12,185（9,900）百万円

- ① 鳥獣被害防止総合支援事業  
シカやイノシシ、サル、クマ等への対応など「被害防止計画」に基づく地域ぐるみの取組や侵入防止柵の設置、鳥獣対策に係る総合的な人材育成等を支援します。
- ② 鳥獣被害防止都道府県活動支援事業、都道府県広域捕獲活動支援事業  
都道府県が主導して行う鳥獣被害防止対策や広域捕獲に係る取組等を支援します。
- ③ 鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業  
被害を及ぼす野生鳥獣の捕獲活動経費を支援します。
- ④ 鳥獣被害対策基盤支援事業、全国ジビエプロモーション事業  
被害対策推進のための人材育成やジビエ消費拡大を図るプロモーションを行うとともに、ジビエ利活用の更なる拡大に向けたペットフードへの利用促進や情報発信の取組等を支援します。
- ⑤ シカ特別対策事業、クマ特別対策事業  
シカの集中捕獲や、クマの捕獲対策を体制整備と併せて支援します。
- ⑥ スマート捕獲等普及加速化事業  
ICT等を活用したスマート鳥獣害対策のモデル地区の整備と横展開を支援します。

＜事業の流れ＞



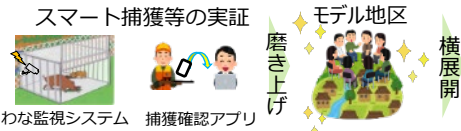
＜事業イメージ＞

〔総合的な鳥獣対策・ジビエ利活用拡大への支援〕



〔捕獲等の強化〕

- ① スマート鳥獣害対策の推進  
ICT等を総動員し被害対策を実施するモデル地区を整備し、優良事例の創出と横展開を推進



- ② シカ、クマの捕獲対策の強化  
被害要因、生息状況等に基づいたシカ、クマの捕獲対策に係る総合的な取組を支援



- ③ 高度な鳥獣被害対策人材の育成・確保  
地域の実情を踏まえた対策の実施が図られるよう、鳥獣被害対策を主導する人材の育成・確保を支援

〔ジビエ利活用拡大に向けた取組〕

- ① ジビエペットフード等によるジビエ利用の拡大  
安全なペットフード原料の供給や、捕獲鳥獣の処理加工施設への搬入拡大に向けた取組を推進



- ② ジビエの情報発信強化  
ジビエ利活用の更なる拡大に向けたコンテンツ等の展示を通じた情報発信の強化





2024年9月12日

令和6年度第2回クマ被害対策等に関する関係省庁連絡会議

東京農業大学 地域環境科学部山崎晃司

# クマ類の被害対策のための基本的な情報

—ツキノワグマを中心に—



## クマに襲われ警察官2人けが 不明者捜索中に 不明2人発見できず

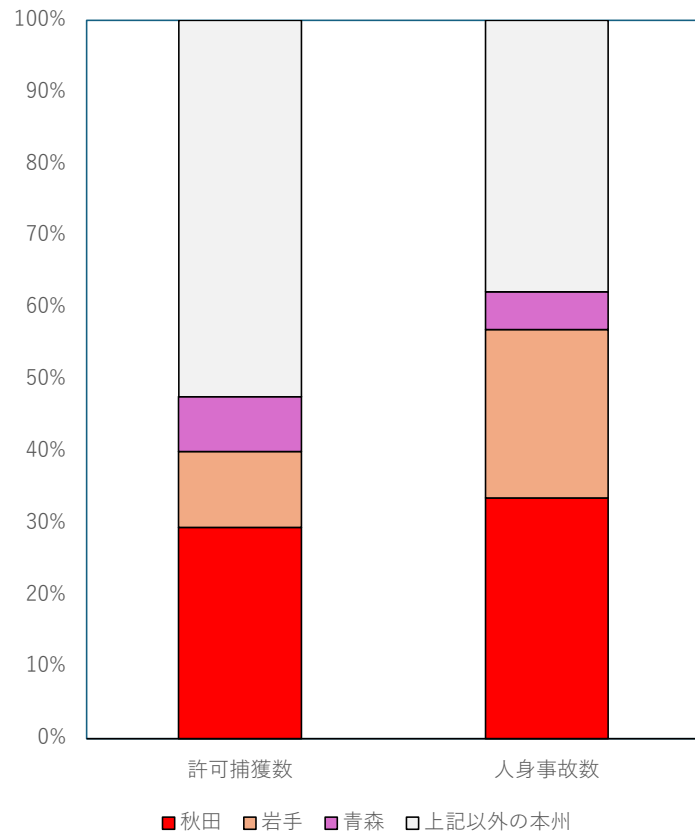
2024年5月18日 18時52分 クマ被害

18日午後、秋田県鹿角市の山林で、行方不明になっている人を捜索していた警察官2人がクマに襲われ、けがをしました。現場周辺で行方不明になっている2人については発見できず、警察などは19日改めて捜索することになっています。

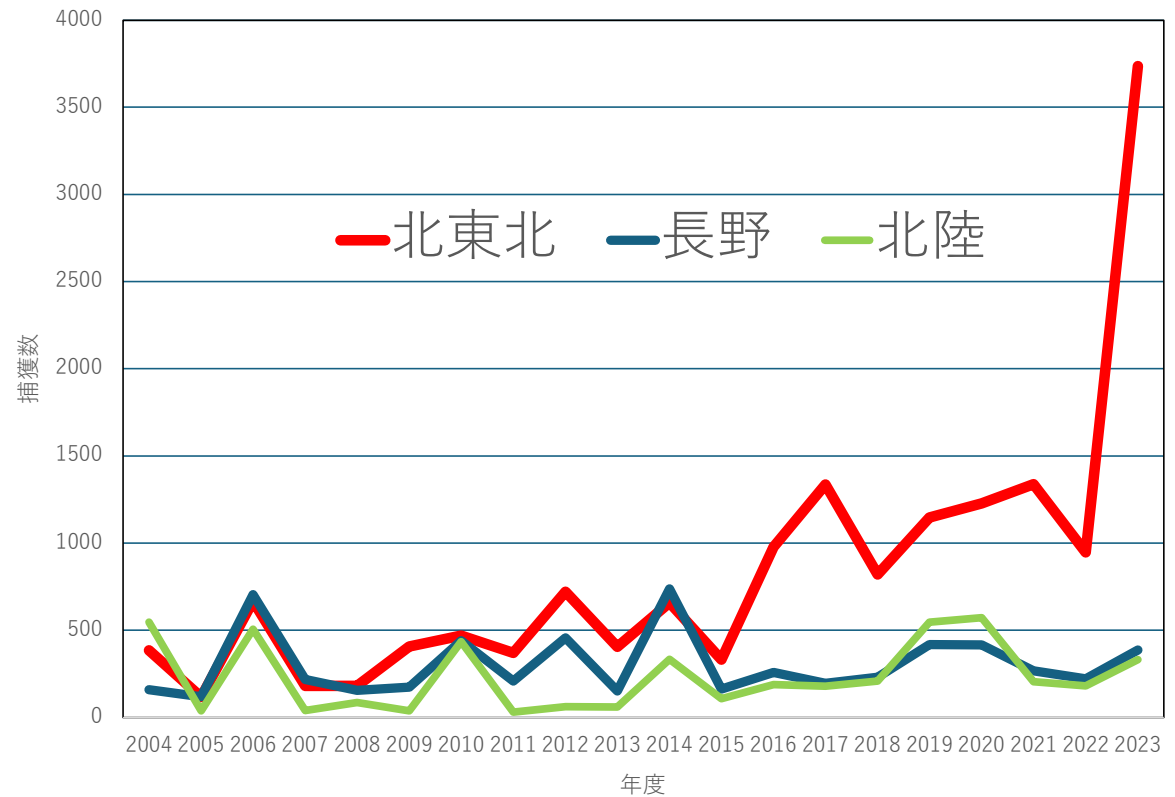
18日午後1時ごろ、秋田県鹿角市十和田大湯の山林で、20代と40代の男性警察官2人がクマに襲われました。

# 2023年度のツキノワグマ出没の概要

2023年は本州で7851頭の許可捕獲と209人の人身事故 ⇒ これまでの最高記録, **ただし**



2023年度のツキノワグマ捕獲数と人身事故数の地区別割合  
(環境省速報値より作成)



ツキノワグマ捕獲数の地域別の年次変動  
(環境省速報値より作成)

# クマ人身事故の傾向 ⇒ 人里へ

- 秋田県では2023年に2308頭の許可捕獲，70人の負傷者



図1. 秋田県における2023年の月別・場所別人身事故被害者数

山菜採りなど山中での活動中の事故を「山」、散歩中や農作業中、新聞配達中、登下校中などの日常生活の中での事故を「人の生活圏」に分類して示した。

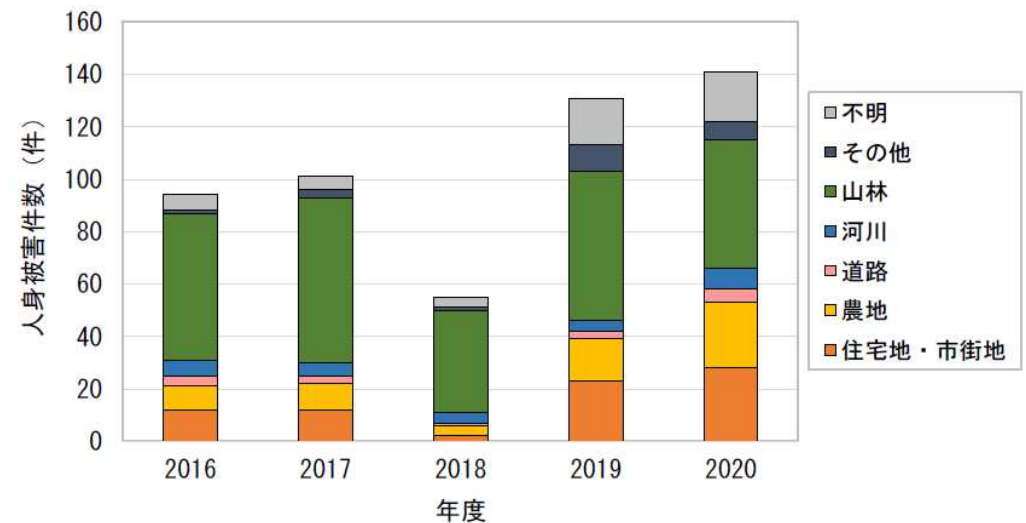


図4-3-7 クマ類による人身被害発生場所の推移

環境省資料（2016～2020年度）より作成

# クマ類管理の政策指針

**新規**【参考】令和6年度指定管理鳥獣対策事業交付金（クマ類総合対策事業）交付対象メニュー

- 2023年11月13日北海道及び東北の8道県知事より要望書
- 2023年12月～2024年2月に「令和5年度クマ類保護及び管理に関する検討会クマ類管理のための検討会」開催
- 2024年2月8日に、「クマ類による被害防止に向けた対策方針意見書」公表  
[https://www.env.go.jp/press/press\\_02673.html](https://www.env.go.jp/press/press_02673.html)
- 指定管理鳥獣へのクマ類の追加（2024年4月16日省令改訂）

| 交付対象メニュー             | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                        | 交付対象事業者 | 交付割合                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①計画策定・調査等事業          | <ul style="list-style-type: none"> <li>特定鳥獣保護・管理計画又は指定管理鳥獣捕獲等事業に関する実施計画並びに広域的な保護・管理の方針の策定等。</li> <li>上記計画策定に必要な生息・目撃・被害状況等の調査及び捕獲情報の収集等及び事業評価の実施。</li> </ul>                                                                                                               | 都道府県協議会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業費5,000千円を上限とする定額（都道府県）</li> <li>事業費10,000千円を上限とする定額（協議会）</li> <li>ただし、いずれも定額を超える事業費分は1／2以内</li> <li>交付上限額は12,500千円（都道府県。ただし、北海道においては事業費が特別にかかると認められる場合に限り、事業費20,000千円を上限とする定額、交付上限額25,000千円。）、15,000千円（協議会）</li> </ul> |
| ②捕獲等事業               | <ul style="list-style-type: none"> <li>捕獲及び捕獲に付随する事項の実施。</li> <li>捕獲個体の搬出・処分の実施。</li> </ul>                                                                                                                                                                                | 都道府県    | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業費の1／2以内（都道府県）</li> </ul>                                                                                                                                                                                               |
| ③出沒防止対策事業            | <ul style="list-style-type: none"> <li>市街地・集落等の周辺における放任果樹等の誘引物の除去、緩衝帯の整備、侵入防止柵の整備、追い払い、学習放獣、見回り、学習会の開催、普及啓発の実施。</li> </ul>                                                                                                                                                 | 都道府県    | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業費の1／2以内（都道府県）</li> </ul>                                                                                                                                                                                               |
| ④出沒時の体制構築事業          | <ul style="list-style-type: none"> <li>市街地・集落等への出沒を想定した研修・訓練、出沒対応マニュアルの作成。</li> <li>ICT等を活用した出沒情報の収集・提供の実施。</li> </ul>                                                                                                                                                     | 都道府県    | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業費の1／2以内（都道府県）</li> </ul>                                                                                                                                                                                               |
| ⑤クマ類の保護・管理に係る専門人材の育成 | <p>&lt;都道府県&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クマ類の保護・管理を担う都道府県・市町村担当職員の専門知識の向上、認定鳥獣捕獲等事業者、捕獲技術者の技術向上・育成に向けた必要な取組の実施。</li> </ul> <p>&lt;協議会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護管理ユニットをベースにした広域的な保護・管理に向けた研修会の開催等、技術向上・育成に向けた必要な取組の実施。</li> </ul> | 都道府県協議会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業費2,000千円を上限とする定額</li> <li>ただし、定額を超える事業費分は1／2以内</li> </ul>                                                                                                                                                              |

環境省HP公表資料より

# ツキノワグマ分布拡大の現況

水色は2004年時点（環境省）  
オレンジは2013年時点（日本クマネットワーク）  
赤は2018年時点（環境省）

分布域はほぼ最大限に拡大  
津軽半島，能登半島，男鹿半島，伊豆半島，阿武隈へも進出  
ただし，四国は危機的状況，九州は1940年代に地域絶滅



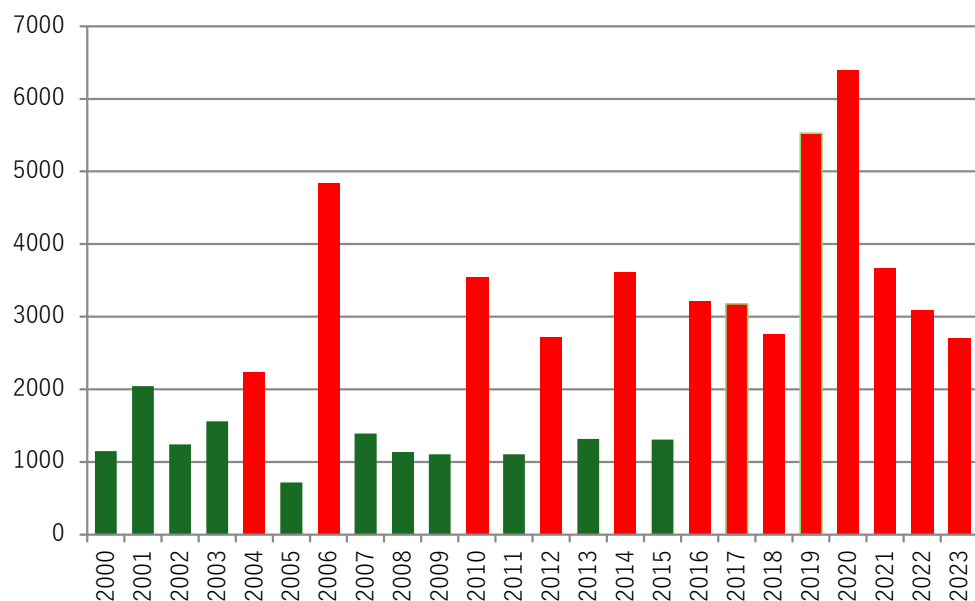
本州，四国のツキノワグマの遺伝的グループ（Ohnishi ほか 2009 より）

- 本州以南へのツキノワグマへの渡来は50万～30万年前に起こり，その後3つのグループに分かれた。
- 種内の遺伝的多様性も担保しながらの管理の必要性

# 被害対策を念頭に置いた今後の管理の方向性

- 大量出沒は2004年に最初に起こり，以降その頻度が上昇
- 人との軋轢も伴って上昇

許可捕獲数の推移（含む放逐）



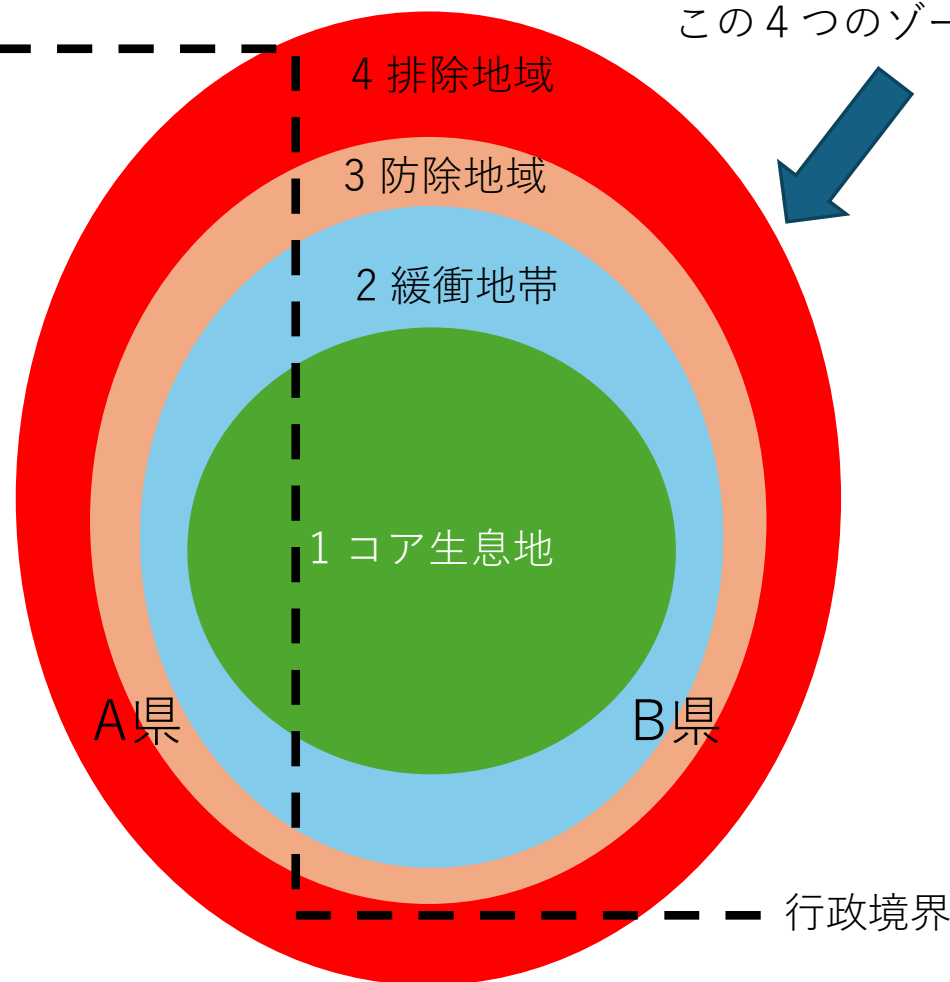
↑ ここから軋轢が激化しはじめた

水色（2004年）  
の時点まで分布域  
を押し戻せば？  
ゾーニングによる  
分布域管理（個体  
数管理）



# 4つのゾーニングと4つの個体数水準

この4つのゾーン = 保護管理ユニット（地域個体群）



危機的地域  
個体群（成  
獣100頭以  
下）：駆除  
が必要な場  
合も非捕殺  
的手段で。  
総捕獲数は  
3%以下

絶滅危惧地  
域個体群  
（成獣100～  
400頭）：狩  
猟禁止、総  
捕獲数は5%  
以下

危急地域  
個体群  
（成獣400  
～800  
頭）：総  
捕獲数は  
8%以下

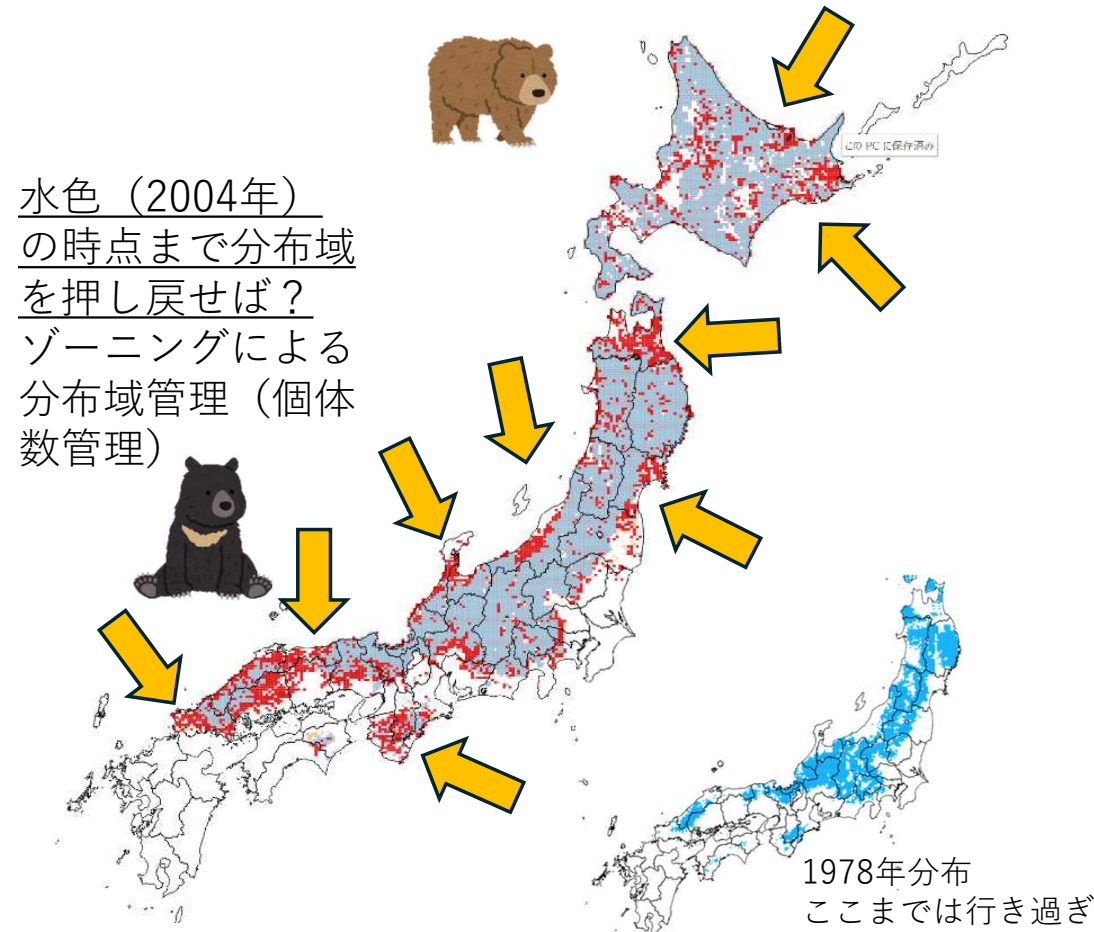
安定存続地域  
個体群（成獣  
800頭以  
上）：総捕獲  
数は12%以  
下。排除地域  
の設定。軋轢  
が恒常的な場  
合は3%上乘  
せ検討

総捕獲数 = 狩猟捕獲 + 許可捕獲 + 交通事故など  
⇒ 地域個体群は複数の自治体にまたがる場合が多い

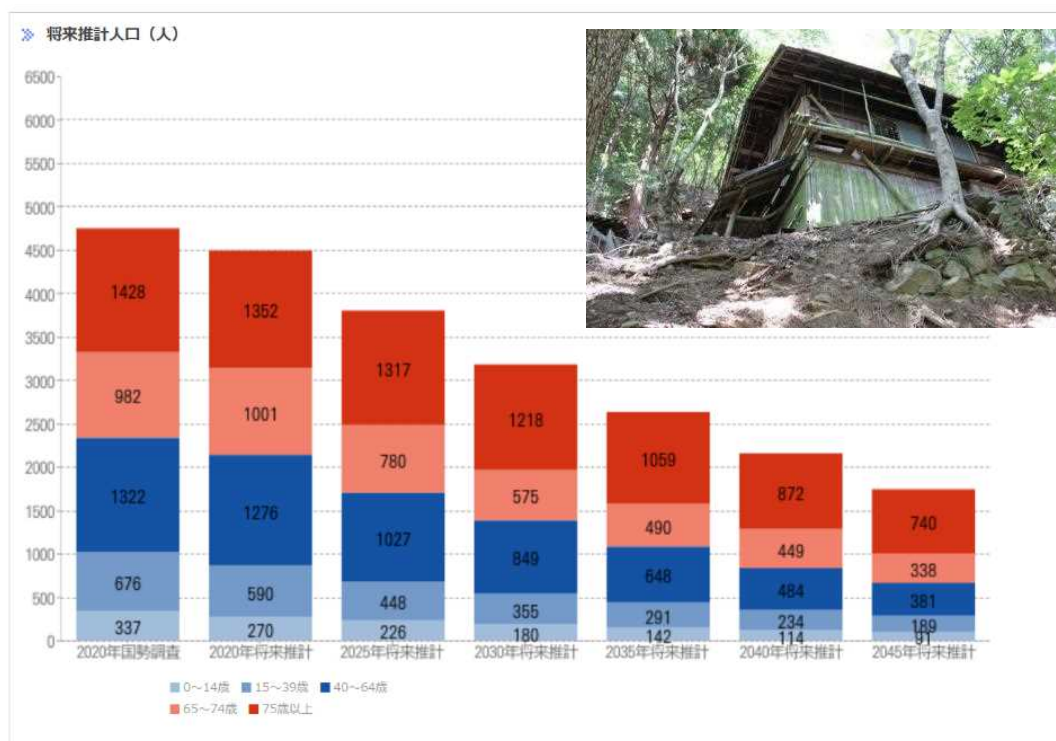
特定鳥獣保護管理計画作成のためのガイドライン（クマ類編）（環境省2022）

# 被害対策を念頭に置いた今後の管理の方向性

- モニタリングの実施とその継続
- 地域集団に留意した（広域管理）、ゾーニング管理の徹底
- 排除地域，防除地域での分布の押し戻し
- 緩衝帯での個体数抑制
- ただし，闇雲に個体数を減らすことではない
- 被害防除対策（環境整備）も極めて重要
- しかし簡単ではない ⇒ 担い手の不足，技術の不足，里山の衰退（高齢化，過疎化）



# 地方での人口推移と高齢化の予測（奥多摩町）



奥多摩町の高齢化率の推移



※高齢化率：総人口に占める65歳以上の人口割合（％），年齢不詳を除いて算出

※図中の緑の点線は、前回2013年3月公表の「将来人口推計」に基づく当地域の高齢化率

© jp.gdfreak.com

# 指定管理鳥獣と 認定鳥獣捕獲等事業 者制度

- 集中的かつ広域的に管理を図る必要があるとして、環境大臣が定めた鳥獣
- 鳥獣捕獲等事業者が、鳥獣の捕獲等に係る安全管理体制や、従事者の技能及び知識が一定の基準に適合している場合、都道府県知事の認定を受けすることができる制度
- 主に公的な鳥獣捕獲等事業の請負業務の担い手となる
- 捕獲だけではなくモニタリングへの参加も

※あるいは、行政職員としての配置  
島根県の参考事例  
鳥獣採用職員11名（10～40代）＋鳥獣専門職5名

|     |    |     |        |       |        |       |
|-----|----|-----|--------|-------|--------|-------|
| トップ | 速報 | ライブ | エキスパート | オリジナル | みんなの意見 | ランキング |
|-----|----|-----|--------|-------|--------|-------|

|    |    |    |    |      |      |    |    |     |    |
|----|----|----|----|------|------|----|----|-----|----|
| 主要 | 国内 | 国際 | 経済 | エンタメ | スポーツ | IT | 科学 | ライフ | 地域 |
|----|----|----|----|------|------|----|----|-----|----|

新着トピックス
 [入浴介助に男性 泣いた女性障害者](#)
NEW

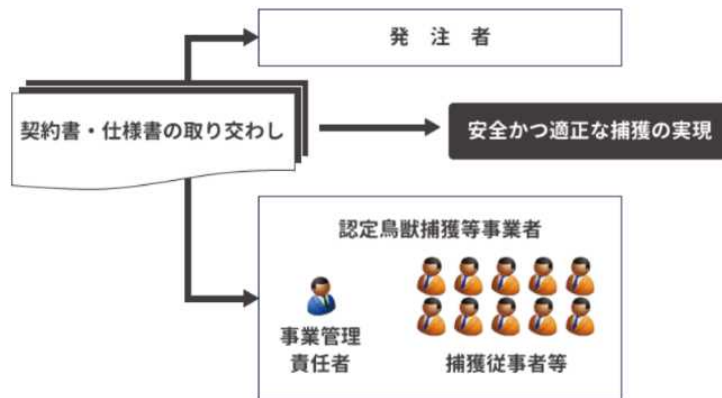
## 「米軍の特殊部隊相手のよう」クマ駆除めぐり溝も 若きハンター育成急務も 壁が

5/26(日) 10:55 配信 93          **news**

■「クマは米軍の特殊部隊相手のようなもの」

北海道猟友会砂川支部 奈井江部会 山岸辰人部会長  
 「クマやるってことはデルタフォース（米軍の特殊部隊）相手にしてるようなもんだよ。こっちはただのハンターだ」

Q. これが日当でいうと8500円くらい  
 「高校生のコンビニのバイトだってもっともらってるだろ。それでヒグマに立ち向かっていくんですかって話、誰が行くんですか」



# 管理現場の注意点

- 2013年5月28日 福島県会津美里町 山菜採取の成人男性（78歳）が行方不明 ⇒ 警察官および役場職員の捜索隊4名が遺体を守るクマに襲われ重軽傷



# ツキノワグマの食性

- 植物質に偏った雑食性
- ただし、動物質も機会があれば利用



## シカ摂食痕（土饅頭）



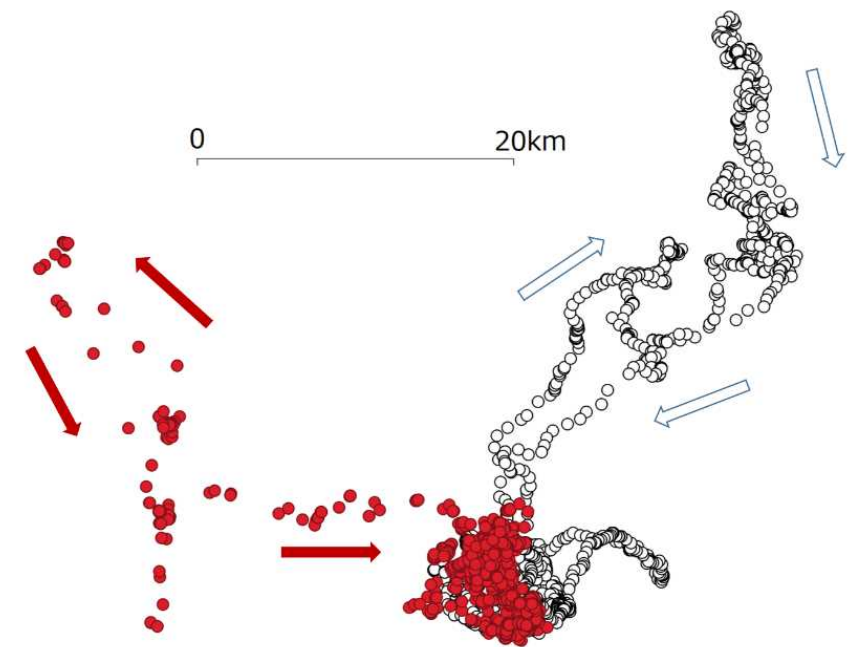
# ツキノワグマの嗅覚

- ◎鼻の良い猟犬（プロットハウンド：嗅覚猟あるいはツリーイング  
猟）よりも数倍良いとされる
- ◎近縁種のアメリカクロクマでは5kmを移動してきた事例
- ◎嗅ぎ分ける能力（嗅覚受容体の遺伝子数）の研究では、ツキノワグマは792個と多い（ヒグマは582個，ホッキョクグマは521個，ヒトは396個）



# ツキノワグマの運動能力

- ◎時速約40キロで走行（ヒグマ時速約56キロ）
- ◎ウサインボルトで時速45キロ（数秒間のみ）
- ◎長距離移動能力も高い

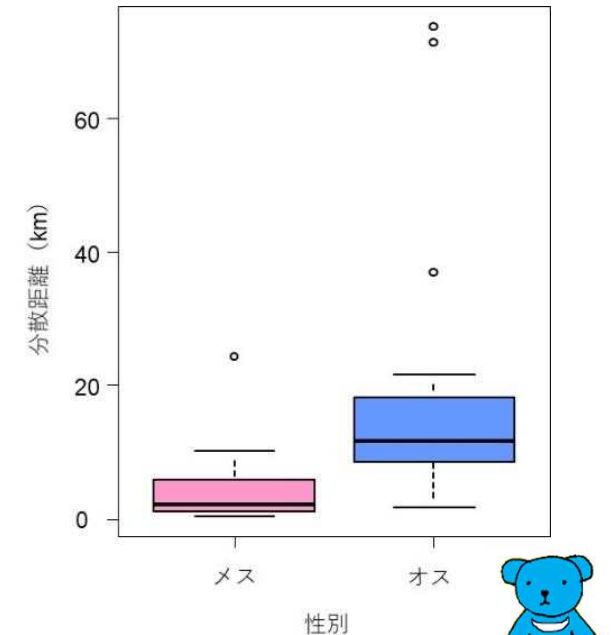


# ツキノワグマの分散距離

|    | 学術捕獲 | 有害駆除 | 合計  | 母親を推定できた個体 |
|----|------|------|-----|------------|
| オス | 56   | 322  | 378 | 33         |
| メス | 37   | 135  | 172 | 23         |
| 合計 | 93   | 457  | 550 | 56         |

日光 足尾山地 群馬県

- オス：96%が分散（平均 17.4km）
- メス：50%が分散（平均 4.8 km）
- オスは3歳までに分散を開始
- 不成の年には若いオスは戻ってくることもあり



メスの分散距離

平均  $4.8 \pm 1.7$  km

中央値 2.2 km

1.8 km未満：50 %

成獣メスの行動半径  
平均 1.8km (Kozakai et al.2011)

オスの分散距離

平均  $17.4 \pm 3.5$  km

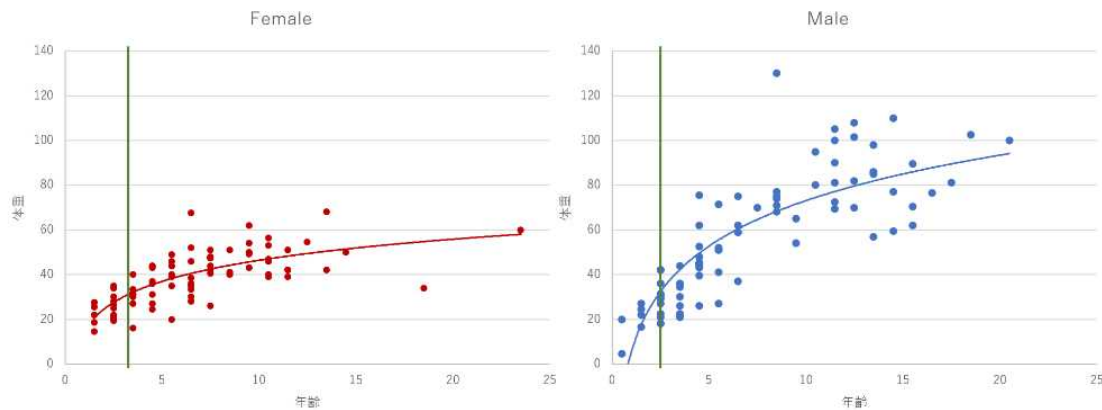
中央値 11.7km

1.8 km未満：4%

# ツキノワグマの平均的な体重

➤成獣オスで100kgくらいまで，成獣メスで70kgくらいまで

◎日本人の成人男性および成人女性と同程度



メスは4歳，オスは2～4歳で生理的成熟に達する

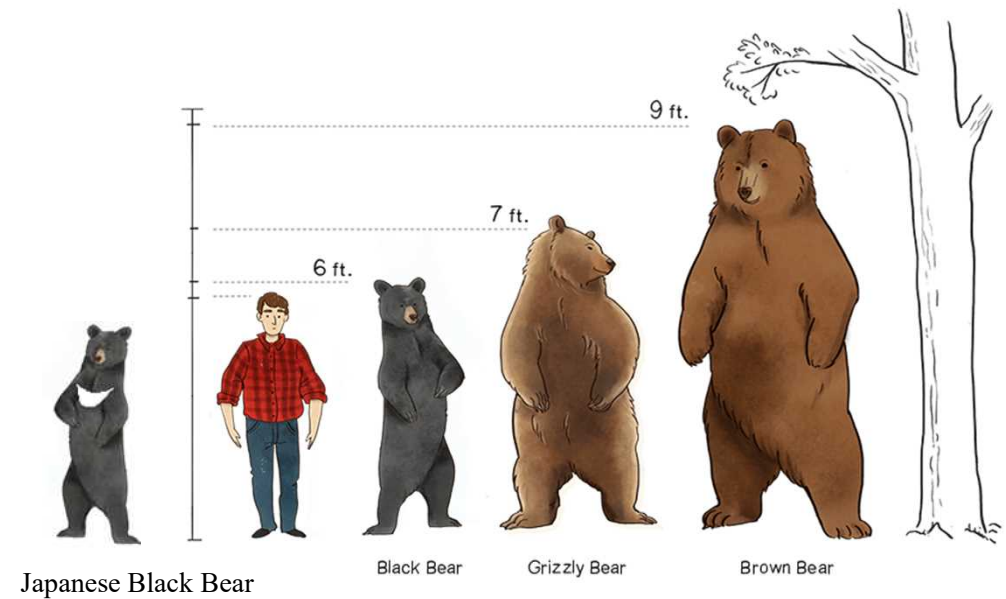


Illustration from TakeOutdoors.com

# ツキノワグマの冬眠期間

◎冬期の落葉時は，食べものを探し回っても消費するエネルギーを上回るエネルギーを獲得できないため，飢餓への応答として冬眠する

◎通常，11～12月頃から，翌年の3月頃まで。出産した母グマと子ぐまは5月上旬頃まで越冬場所で過ごす

◎冬眠中でもすぐに起き上がり走ることができる



アメリカクロクマの事例  
Bear of the world 2021から

# クマの攻撃への対応

- 遭わない努力をする ⇒ 遭ってからの正解はない
- 徹底的にナタや素手で抗戦する
- 防御姿勢を取る
- カプサイシンスプレーで撃退する

◎クマは人の顔を狙って攻撃をしてくる場合が多い

◎「命に別状は無い」だから大丈夫なのか？



キーワードを入力

トップ 速報 ライブ エキスパート オリジナル みんなの意見 ランキング

主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域

**訓練 首や頭を守る…クマ出没想定し臨む**  
県警が新たな装備品導入



秋田テレビ (秋田テレビ)

**クマから首や頭を守る丈夫なつくり…県警が新たな装備品を導入 出  
没に備え対応訓練 秋田**

**AAT 秋田テレビ**  
8/20(火) 21:38配信  
秋田テレビ



# クマスプレー使用のコツ

- 主成分はカプサイシン
- 噴射時間 5～7秒（大サイズで9秒）
- 有効距離 9m（大サイズで10m）※実際はもっと引き付けて使用
- 常にすぐに取り出せる位置に携帯（ホルスター推奨）
- 購入時のインシュロックは外しておく
- 事前の噴射練習を必ずする
- 有効期限に注意
- 自分に浴びると、呼吸困難、眼が開かなくなる。衣服や体表に付着して毛穴に入り痛み



# クマスプレー噴射時の注意点

- 風向きに注意，同行者の位置関係にも注意
- クマは一直線に突進してくる（クマの頭の位置は人の腰より下）
- 突進時も多くはブラフチャージで，直前に左右に逸れるか引き返すことが多い
- 慌てずクマを引き付けて噴射（5m程度）
- クマの粘膜質部位（眼，鼻，口）を正確に狙う
- 噴射してもクマが止まらない場合は防御姿勢に移行
- クマが逃走した後はその場にいつまでも留まらない



# クマスプレーの正しい使用方法

制作 日本クマネットワーク（約9分）



## クマ被害対策等に関する関係省庁連絡会議 設置要綱

### (目的)

第1条 クマ類の地域個体群存続と人間との軋轢軽減の両立を目指し、クマ類の保護・管理に関する関係省庁による情報共有、意見交換等を行うため、「クマ被害対策等に関する関係省庁連絡会議(以下「連絡会議」という。)」を設置する。

### (所掌事項)

第2条 連絡会議は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項を行う。

- (1) 情報共有及び共有体制に関する検討。
- (2) 自治体との連携に関する検討。
- (3) 第1条の目的を達成するために必要と認められるその他の事項。

### (構成)

第3条 連絡会議は、別表に記載する関係省庁をもって構成する。

### (会議)

第4条 連絡会議は、環境省自然環境局野生生物課長が必要に応じて招集する。また、構成省庁からの要請を踏まえ、環境省自然環境局野生生物課長が必要と認めたときは、会議を招集する。

### (事務局)

第5条 連絡会議の事務局は、環境省自然環境局野生生物課に置き、同会議の事務を処理する。

### (その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、連絡会議の開催方法等に関し必要な事項は構成員に諮って定める。

### 附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

この要綱は、令和6年4月11日から施行する。

(別表)

|      |                                                               |
|------|---------------------------------------------------------------|
| 構成省庁 | 警察庁生活安全局保安課長                                                  |
|      | 農林水産省農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課長<br>農林水産省農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課鳥獣対策室長 |
|      | 林野庁森林整備部研究指導課長<br>林野庁森林整備部研究指導課森林保護対策室長                       |
|      | 国土交通省水管理・国土保全局河川環境課長                                          |
|      | 環境省自然環境局野生生物課長<br>環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室長                       |

# クマによる人身被害件数（月別）

参考資料 2

| 年度            | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1  | R2  | R3 | R4 | R5  | R6 |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|----|
| 4月            | 75  | 1   | 2   | 2   | 1   | 3   | 4   | 5   | 5   | 5   | 4   | 9   | 8   | 6   | 1   | 4  | 3  | 4   | 3  |
| 5月            |     | 5   | 10  | 12  | 18  | 9   | 7   | 9   | 11  | 15  | 14  | 15  | 6   | 15  | 9   | 5  | 11 | 17  | 11 |
| 6月            |     | 7   | 5   | 10  | 6   | 11  | 6   | 5   | 11  | 15  | 12  | 13  | 7   | 8   | 8   | 10 | 14 | 16  | 18 |
| 7月            |     | 7   | 5   | 4   | 12  | 11  | 11  | 5   | 5   | 4   | 7   | 13  | 10  | 18  | 12  | 15 | 12 | 17  | 13 |
| 8月            |     | 8   | 7   | 5   | 19  | 10  | 6   | 9   | 12  | 4   | 15  | 15  | 6   | 10  | 27  | 11 | 17 | 15  | 11 |
| 9月            |     | 7   | 10  | 12  | 26  | 5   | 8   | 2   | 31  | 3   | 8   | 11  | 7   | 22  | 23  | 14 | 7  | 36  |    |
| 10月           | 49  | 6   | 8   | 3   | 33  | 10  | 20  | 6   | 25  | 3   | 26  | 13  | 6   | 33  | 39  | 11 | 3  | 60  |    |
| 11月           | 15  | 3   | 5   | 2   | 25  | 7   | 9   | 2   | 12  | 1   | 12  | 8   | 0   | 22  | 18  | 5  | 3  | 28  |    |
| 12月           | 3   | 2   | 0   | 1   | 4   | 3   | 1   | 2   | 1   | 1   | 3   | 2   | 1   | 6   | 3   | 3  | 0  | 3   |    |
| 1月            | 0   | 1   | 0   | 0   | 1   | 1   | 0   | 1   | 1   | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 1  | 0  | 1   |    |
| 2月            | 2   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 1  | 0   |    |
| 3月            | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 1   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 2   | 1  | 0  | 1   |    |
| 4月～9月         | 75  | 35  | 39  | 45  | 82  | 49  | 42  | 35  | 75  | 46  | 60  | 76  | 44  | 79  | 80  | 59 | 64 | 105 | 56 |
| 10月～3月        | 69  | 12  | 13  | 7   | 63  | 21  | 31  | 11  | 41  | 6   | 41  | 24  | 7   | 61  | 63  | 21 | 7  | 93  | 0  |
| 合計<br>(4月～3月) | 144 | 47  | 52  | 52  | 145 | 70  | 73  | 46  | 116 | 52  | 101 | 100 | 51  | 140 | 143 | 80 | 71 | 198 | 56 |

※平成18年度は、4月～9月の月別の件数は把握していない。

# クマによる人身被害人数（月別）

参考資料 3

| 年度            | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1  | R2  | R3 | R4 | R5  | R6 |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|----|
| 4月            | 75  | 1   | 3   | 3   | 1   | 3   | 5   | 5   | 5   | 5   | 6   | 11  | 8   | 7   | 1   | 4  | 3  | 5   | 3  |
| 5月            |     | 5   | 11  | 13  | 19  | 9   | 7   | 12  | 12  | 15  | 14  | 15  | 6   | 16  | 10  | 5  | 12 | 17  | 13 |
| 6月            |     | 7   | 6   | 10  | 7   | 13  | 6   | 8   | 11  | 16  | 12  | 14  | 7   | 9   | 8   | 13 | 14 | 17  | 18 |
| 7月            |     | 7   | 6   | 4   | 12  | 14  | 11  | 7   | 5   | 4   | 7   | 14  | 10  | 18  | 13  | 15 | 13 | 17  | 13 |
| 8月            |     | 8   | 7   | 6   | 19  | 11  | 6   | 10  | 12  | 5   | 16  | 17  | 6   | 10  | 29  | 12 | 19 | 15  | 11 |
| 9月            |     | 7   | 12  | 20  | 26  | 5   | 8   | 2   | 33  | 3   | 8   | 11  | 7   | 22  | 25  | 14 | 7  | 38  |    |
| 10月           | 49  | 6   | 9   | 3   | 36  | 13  | 22  | 7   | 26  | 4   | 27  | 14  | 6   | 37  | 46  | 12 | 3  | 73  |    |
| 11月           | 15  | 3   | 5   | 2   | 25  | 7   | 10  | 2   | 13  | 2   | 12  | 9   | 0   | 32  | 20  | 6  | 3  | 30  |    |
| 12月           | 3   | 2   | 0   | 1   | 4   | 5   | 1   | 2   | 1   | 1   | 3   | 2   | 3   | 6   | 3   | 4  | 0  | 5   |    |
| 1月            | 0   | 1   | 0   | 0   | 1   | 1   | 0   | 1   | 1   | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 1  | 0  | 1   |    |
| 2月            | 2   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 1  | 0   |    |
| 3月            | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 1   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 2   | 2  | 0  | 1   |    |
| 合計<br>(4月～9月) | 75  | 35  | 45  | 56  | 84  | 55  | 43  | 44  | 78  | 48  | 63  | 82  | 44  | 82  | 86  | 63 | 68 | 109 | 58 |
| 合計<br>(4月～3月) | 144 | 47  | 59  | 63  | 150 | 81  | 77  | 56  | 121 | 56  | 105 | 108 | 53  | 157 | 158 | 88 | 75 | 219 | 58 |

※平成18年度は、4月～9月の月別の件数は把握していない。

# クマ出没件数（月別）

参考資料 4

| 年度            | H21   | H22    | H23   | H24    | H25   | H26    | H27   | H28    | H29    | H30    | R1     | R2            | R3     | R4     | R5            | R6     |
|---------------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|---------------|--------|--------|---------------|--------|
| 4月            | 163   | 156    | 273   | 323    | 314   | 521    | 459   | 506    | 479    | 548    | 446    | 515           | 537    | 437    | 593           | 684    |
| 5月            | 422   | 634    | 557   | 1,083  | 1,064 | 1,397  | 1,396 | 1,880  | 1,655  | 2,056  | 1,651  | 1,622         | 1,612  | 1,526  | 1,974         | 2,444  |
| 6月            | 786   | 1,281  | 1,020 | 1,803  | 1,837 | 1,915  | 2,072 | 3,626  | 2,934  | 3,113  | 2,929  | 2,814         | 2,412  | 2,413  | 3,124         | 4,402  |
| 7月            | 882   | 1,430  | 1,323 | 2,103  | 1,798 | 2,190  | 1,909 | 3,240  | 2,670  | 2,503  | 3,205  | 2,994         | 2,406  | 1,939  | 2,845         | 3,174  |
| 8月            | 1,078 | 2,504  | 1,347 | 2,498  | 1,799 | 2,691  | 1,473 | 2,520  | 2,279  | 2,023  | 2,663  | 3,303         | 1,762  | 1,809  | 2,169         |        |
| 9月            | 382   | 3,406  | 588   | 2,105  | 914   | 2,884  | 675   | 1,418  | 1,347  | 812    | 2,159  | 2,539         | 1,073  | 1,050  | 2,686         |        |
| 10月           | 194   | 5,290  | 637   | 873    | 615   | 2,546  | 845   | 2,589  | 771    | 727    | 2,679  | 4,213         | 1,393  | 1,026  | 5,983         |        |
| 11月           | 95    | 2,781  | 409   | 9      | 539   | 1,400  | 441   | 1,855  | 411    | 666    | 1,951  | 2,288         | 1,062  | 562    | 3,700         |        |
| 12月           | 31    | 258    | 0     | 0      | 177   | 194    | 170   | 347    | 141    | 198    | 374    | 367           | 310    | 183    | 805           |        |
| 1月            | 16    | 38     | 0     | 0      | 31    | 31     | 39    | 41     | 43     | 42     | 100    | 59            | 47     | 42     | 190           |        |
| 2月            | 5     | 29     | 0     | 0      | 13    | 28     | 18    | 32     | 20     | 38     | 63     | 71            | 50     | 50     | 127           |        |
| 3月            | 22    | 44     | 0     | 0      | 33    | 69     | 58    | 62     | 62     | 83     | 97     | 102           | 79     | 98     | 152           |        |
| 合計<br>(4月～3月) | 4,076 | 17,851 | 6,154 | 10,797 | 9,134 | 15,866 | 9,555 | 18,116 | 12,812 | 12,809 | 18,317 | 20,887        | 12,743 | 11,135 | <u>24,348</u> | 10,704 |
| 4月～9月         | 3,713 | 9,411  | 5,108 | 9,915  | 7,726 | 11,598 | 7,984 | 13,190 | 11,364 | 11,055 | 13,053 | <u>13,787</u> | 9,802  | 9,174  | 13,391        | 10,704 |
| 10月～3月        | 363   | 8,440  | 1,046 | 882    | 1,408 | 4,268  | 1,571 | 4,926  | 1,448  | 1,754  | 5,264  | 7,100         | 2,941  | 1,961  | <u>10,957</u> | 0      |

# クマ許可捕獲数（月別）

参考資料 5

| 年度            | H18   | H19   | H20   | H21   | H22   | H23   | H24   | H25   | H26   | H27   | H28   | H29   | H30   | R1    | R2    | R3    | R4    | R5    | R6    |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 4月            | 2934  | 91    | 165   | 174   | 167   | 131   | 162   | 195   | 264   | 280   | 234   | 324   | 276   | 299   | 287   | 256   | 244   | 251   | 224   |
| 5月            |       | 105   | 71    | 112   | 156   | 175   | 144   | 218   | 246   | 146   | 241   | 262   | 290   | 413   | 457   | 424   | 419   | 449   | 563   |
| 6月            |       | 110   | 77    | 126   | 125   | 128   | 180   | 160   | 220   | 250   | 378   | 391   | 501   | 629   | 612   | 550   | 524   | 704   | 915   |
| 7月            |       | 165   | 120   | 180   | 248   | 219   | 391   | 248   | 475   | 339   | 640   | 516   | 718   | 992   | 859   | 704   | 666   | 993   | 769   |
| 8月            |       | 485   | 404   | 558   | 840   | 436   | 945   | 466   | 846   | 466   | 870   | 958   | 894   | 1348  | 1528  | 920   | 939   | 1365  |       |
| 9月            |       | 236   | 355   | 345   | 927   | 352   | 973   | 268   | 1046  | 219   | 607   | 749   | 410   | 1129  | 1183  | 636   | 508   | 1786  |       |
| 10月           | 1531  | 138   | 162   | 143   | 851   | 226   | 353   | 163   | 732   | 145   | 480   | 493   | 238   | 835   | 1408  | 509   | 331   | 2438  |       |
| 11月           | 645   | 53    | 106   | 34    | 618   | 89    | 111   | 90    | 279   | 70    | 294   | 225   | 205   | 536   | 801   | 368   | 178   | 1136  |       |
| 12月           | 23    | 8     | 17    | 10    | 41    | 13    | 10    | 16    | 14    | 8     | 37    | 26    | 43    | 63    | 93    | 90    | 46    | 114   |       |
| 1月            | 4     | 1     | 1     | 1     | 1     | 0     | 5     | 0     | 3     | 0     | 1     | 2     | 2     | 8     | 8     | 10    | 10    | 7     |       |
| 2月            | 7     | 0     | 0     | 0     | 4     | 0     | 0     | 0     | 2     | 0     | 1     | 1     | 0     | 3     | 2     | 9     | 4     | 14    |       |
| 3月            | 9     | 1     | 15    | 1     | 6     | 3     | 6     | 4     | 10    | 4     | 4     | 5     | 9     | 30    | 16    | 8     | 10    | 17    |       |
| 合計<br>(4月～9月) | 2,934 | 1,192 | 1,192 | 1,495 | 2,463 | 1,441 | 2,795 | 1,555 | 3,097 | 1,700 | 2,970 | 3,200 | 3,089 | 4,810 | 4,926 | 3,490 | 3,300 | 5,548 | 2,471 |
| 合計<br>(4月～3月) | 5,153 | 1,393 | 1,493 | 1,684 | 3,984 | 1,772 | 3,280 | 1,828 | 4,137 | 1,927 | 3,787 | 3,952 | 3,586 | 6,285 | 7,254 | 4,484 | 3,879 | 9,274 | 2,471 |

※平成18年度は、4月～9月の月別の件数は把握していない。

# 堅果類の着花結実情報について(速報値)

参考資料 6

令和6年9月12日時点

| 都道府県 | 令和6年度開花状況            |                      |                      | 令和5年度結実状況             |                       |                       | 令和5年度開花状況            |                      |                      |
|------|----------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
|      | ブナ                   | ミズナラ                 | コナラ                  | ブナ                    | ミズナラ                  | コナラ                   | ブナ                   | ミズナラ                 | コナラ                  |
| 北海道  | -                    | -                    | -                    | 不作                    | 不作                    | -                     | -                    | -                    | -                    |
| 青森   | 豊作                   | -                    | -                    | 大凶作                   | -                     | -                     | 大凶作                  | -                    | -                    |
| 岩手   | -                    | -                    | -                    | 不作                    | 凶作                    | 凶作                    | -                    | -                    | -                    |
| 宮城   | -                    | -                    | -                    | 凶作                    | 凶作                    | -                     | -                    | -                    | -                    |
| 秋田   | -                    | -                    | -                    | 凶作                    | 凶作                    | 凶作                    | 大凶作                  | -                    | -                    |
| 山形   | 並作                   | -                    | -                    | 凶作                    | 凶作～並作                 | 凶作～並作                 | 凶作                   | -                    | -                    |
| 福島   | 並作                   | 豊作                   | 豊作                   | 凶作                    | 並作                    | 並作                    | 凶作                   | 並作                   | 並作                   |
| 栃木   | -                    | -                    | -                    | 凶作～並作                 | 凶作～並作                 | 不作～並作                 | 凶作～並作                | -                    | -                    |
| 群馬   | -                    | -                    | -                    | 大凶作                   | 不作                    | 不作                    | -                    | -                    | -                    |
| 埼玉   | -                    | -                    | -                    | -                     | -                     | -                     | -                    | -                    | -                    |
| 東京   | 並作                   | 並作                   | 並作                   | 凶作                    | 凶作～並作                 | 凶作～並作                 | 凶作～豊作                | 凶作～豊作                | 並作～豊作                |
| 神奈川  | 並～豊作                 | 凶～並作                 | 並～豊作                 | 凶作                    | 凶作                    | 凶作～並作                 | 凶作                   | 凶作                   | 凶作～並作                |
| 新潟   | -                    | -                    | -                    | 凶作                    | 不作                    | 不作                    | -                    | -                    | -                    |
| 富山   | 凶作～並作                | -                    | -                    | 不作<br>(東部:凶作、西部:不作)   | 不作<br>(東部:不作、西部:不作)   | 不作<br>(東部:並作、西部:不作)   | 凶作～並作                | -                    | -                    |
| 石川   | 凶作                   | -                    | -                    | 並作                    | 並作                    | 並作                    | 並作                   | 豊作                   | 並作                   |
| 福井   | -                    | -                    | -                    | 凶作                    | 不作                    | 不作                    | -                    | -                    | -                    |
| 山梨   | -                    | -                    | -                    | 凶作                    | 並作                    | 並作                    | 凶作～並作                | 並作                   | 並作                   |
| 長野   | -                    | -                    | -                    | 凶作(大凶作～並作下)           | 並作下(凶作～並作上)           | 並作下(凶作～並作上)           | -                    | -                    | -                    |
| 岐阜   | -                    | -                    | -                    | 凶作                    | 凶作                    | 並作                    | -                    | -                    | -                    |
| 静岡   | -                    | -                    | -                    | -                     | -                     | -                     | -                    | -                    | -                    |
| 愛知   | -                    | -                    | -                    | -                     | 凶作                    | 並作                    | -                    | -                    | -                    |
| 三重   | -                    | -                    | -                    | -                     | -                     | -                     | -                    | -                    | -                    |
| 滋賀   | -                    | -                    | -                    | 凶作                    | 不作                    | 不作                    | -                    | -                    | -                    |
| 京都   | -                    | -                    | -                    | 凶作                    | 並作                    | 並作                    | -                    | -                    | -                    |
| 大阪   | -                    | -                    | -                    | (未回答)                 | (未回答)                 | (未回答)                 | -                    | -                    | -                    |
| 兵庫   | -                    | -                    | -                    | 大凶作                   | 大凶作                   | 豊作                    | -                    | -                    | -                    |
| 奈良   | -                    | -                    | -                    | 凶作                    | 凶作                    | 並作                    | -                    | -                    | -                    |
| 和歌山  | -                    | -                    | -                    | -                     | -                     | -                     | -                    | -                    | -                    |
| 鳥取   | 並作上                  | 並作上                  | 並作上                  | 凶作                    | 並作下                   | 並作下                   | 並作下                  | 並作上                  | 並作下                  |
| 島根   | -                    | -                    | -                    | 凶作                    | 凶作                    | 並作※                   | -                    | -                    | -                    |
| 岡山   | -                    | -                    | -                    | 並作                    | 凶作                    | 並作                    | -                    | -                    | -                    |
| 広島   | -                    | -                    | -                    | -                     | 凶作                    | 並作                    | -                    | -                    | -                    |
| 山口   | -                    | -                    | -                    | -                     | -                     | 並作                    | -                    | -                    | -                    |
| 計    | 豊作 2<br>並作 5<br>凶作 1 | 豊作 1<br>並作 3<br>凶作 0 | 豊作 2<br>並作 2<br>凶作 0 | 豊作 0<br>並作 3<br>凶作 22 | 豊作 0<br>並作 9<br>凶作 17 | 豊作 1<br>並作 17<br>凶作 7 | 豊作 0<br>並作 6<br>凶作 5 | 豊作 1<br>並作 4<br>凶作 1 | 豊作 1<br>並作 5<br>凶作 0 |

注1: 茨城県、千葉県、四国4県及び九州沖縄8県の各県においては、クマが生息していない又は捕獲の実績がないため表示していない。  
 注2: 「並作～豊作」は豊作、「凶作～並作」・「凶作～豊作」・「豊作～並作」は並作、「不作」は凶作として集計